

山形の母なる川

最上川

vol.7

平成18年10月30日

【発行】

山形県倫理法人会

山形市やよい二丁目1-47

TEL 023-647-5582

FAX 023-646-7660

表紙題字／中村俊光氏

CONTENTS

会長挨拶	2
我が社の朝礼・倫理と出会って	3
各単会長挨拶	4
役員辞令交付式	6
新年度に想うこと	7
倫理17000受賞おめでとう	8

大江町左沢 最上橋



社団法人 倫理研究所

山形県倫理法人会

ごあいさつ

山形県倫理法人会会長 近 清剛



十月・神無月の季。豊かな実りの月、さわやかに少しひんやりと、空も、池も、沼も、全てが透明度を増し遠くの山も近くに見えていく、秋虫の音色も澄みとおり、空はカテドラルの天井を描かれるレオナルド・ダビンチの絵のような濁りのない見事な空色を時として与えてくれる。文字どおり爽秋の季節を迎えました。今年は見事な紅葉に出会うのであろうか、私達のこの故郷の秋を、自慢の故郷を、息を止め、一点に瞳を定め、この秋の移ろいを時間の移り行く時を、神が・自然が与えてくれるこの素晴らしさを、体で感じ、行く秋を惜しんで参りたい。自然が澄むように、倫理を学ぶ一員として自分の心を澄まして行こうと思う。

さて、いよいよ倫理法人会平成十九年度「日本創生・大5万社」、輝かしい記念の年に入りました。平成十八年度中は、皆様からは特段のお力を得、強力な態勢を、特に上山倫理法人会を新しい倫理の仲間を作って戴き誠にありがとうございます。

その今年の山形県倫理法人会活動初め、先月九月十三日(水)、平成十九年度辞令交付式が天童市倫理法人会例会場・滝の湯ホテルさんを会場に行われました。本部より中西局長、三浦方面長をお迎えし、中西局長より一人一人に丁寧な、心に染み渡るお言葉を頂きながら、会場を真剣な空気が満ちる中、辞令を授かりました。広い会場を一杯にし整然と大ステージ上で進行をするさまに接し、過去の辞令交付と一変し、隔世の感の趣でありました。

辞令授受後、各単会会長、各委員長、締めめに拡大委員長の決意表明がなされ、満堂に響き渡り、心改まる時でありました。今年度各単会におかれては、活動重点目標・事業計画が、質が高く個性ある目標と計画が生まれ、全単会、拡大への絶大なご協力と支援の態勢を組んでいただきましたこと、深く敬意を申し上げます。

今年最大の目標は、一〇〇〇社拡大達成であります。この山形に倫理の灯が燈つてより十五年が経ちました。倫理に先輩に敬意を表し、十五周年の祝賀会を開催させていたいただきます。その、一〇〇〇社達成記念祝賀会、十五周年祝賀会、併せ会員大会を二〇〇七年七月七日(土)に、理事長をお迎えし、盛大に、高らかに記念の日を開催してまいります。

一〇〇〇社達成をすれば更なる思いと、一〇〇〇の大きいなる組織の力、重要度がより高まり、会員の方々への責任と、一人一人のこの学びへの強い思いと、質を更に高める努力が深まっています。社会は自然と受け入れを始め、自然と強い力で歯車が回っていくものと思えます。新たな倫理の仲間を、かけがえのない故郷、家族、会社、国家のため、敢然として起って参りましょう。

後になりましたが、今年度『倫理17000』に、酒田米菓株式会社、(株)シベールさんが認定されました。昨年の丸菱食品株式会社と併せ三社となりました。皆様に心より敬意を申し上げますとともに、ご指導戴きますようお願い申し上げます。私達の先輩であり仲間の『家庭倫理の会』、九月十八日に辞令交付式が行われました。力強く拡大が進められ、準が取れ正会となりました。また今年度は二十周年記念であり、十九年七月八日祝賀会が予定されております。法人会としては両輪であり、大いなる喜びであります。連帯を持って行きましょう。

今、世界は特に日本は、深い水準で様々な課題に直面しております。未来は急激な速度で変貌をすることも言われます。私達は重要な使命を担っています。倫理という人生の座標軸を学んでいます。倫理を無窮に伝えなければなりません。頑張つて参りましょう。皆様の事業の更なるご発展と、ご家庭のご多幸をご祈念申し上げます。

我が社の朝礼

山市倫理法人会

副会長 山川 庸久

(株)昭栄代表取締役



朝八時五十分より朝礼を行います。社是信条唱和の後、当番が「職場の教養」を朗読し、所感を述べます。昨日までの営業社員の実績発表後、本日の目標を各自より申告します。そして諸事連絡事項の伝達の後、社長より所感を述べます。「接客十大用語」唱和、平成十八年度経営スローガン「己の殻を破れ!!」を唱和して終了します。

営業は個々のメンタルな部分が大きく影響します。朝、大声を出して気持ちを高めなければなりません。実績がわるく落ち込んでいる社員に笑顔で飛び出してもらわなければなりません。社長の仕事は多岐にわたりますが、特に朝礼は非常に重要です。心を一つにする為の大切な時間です。

今年四月より上山倫理法人会の設立にともない入会しました。「職場の教養」は日々私達に必要な多くの視点からのお話があります。それまでの朝礼はともすると販売



実績についてのみに偏つてしまっている意味がスグスグ感じられました。これからも「職場の教養」を十分に活用して、法人会のMSの良い部分、例えば開始前のベルの活用とかをどんどん取り入れて活気あふれる朝礼にしてゆきます。

倫理と出会って

山形市倫理法人会

広報委員長 荒井 照雄

(有)アシスト代表取締役



倫理にふれてからもう十二年にもなります。初めは、名の通った社長さんが朝早くから勉強会に出ているのに驚き、自分も続けられるか不安がありました。途中中だるみもありましたが、スポンサーの高橋さんと皆さんに助けられ現在に至っております。

三年前に山形市の事務長のお話があつて決めかねていたとき、「何を勉強してきた。倫理は、『はい』しかない。」と言われ「ハイ」と引き受けてしまいました。ハハハ！現在の事務所もなく、前事務長がMSの文書作成等自分で作っていて大変さを見ていたので、MSも陰でこんなに動いている人がいることができるか不安でしたが、一年のつもりが三年にもなりました。(事務職員が居り楽になりました)事務局をしていろいろな方とお話でき考え方を教えて頂きました。

①「ハイ」で(話を聞く)ほとんど

どの問題が消滅又は小さくなる。②自己中心をマイナス(-)相手中心をプラス(+)-と考えると力のある自己中心の人が行動すればするほどマイナスが大きくなり害も多くなる。小さくとも相手中心で行動し世にもお役に立てるよう努力していきたいと思っております。③当社が小学校前にあり、学校の周りの道にゴミとタバコの吸い殻があまりに多く、子供たちに大人の恥を見せたくないと思ひ、五年位前より毎日十分から十五分ゴミ拾いをしていきます。初めは恥ずかしさとの戦いでした。今は近所の方が声をかけてくれるようになり、他の近所の方もゴミ拾いをしてもらい、学校の周りがきれいになりました。人はきつかけがあると行動を始めます。きつかけを与えらるる行動をして行きたい。④倫理を学んでから、まず相手の話を聞けるようになり、知識の吸収の幅が広がったり相談がくるようになった。これからは一生涯の学びとして倫理と歩いていきたいと思ひます。

各単会長挨拶



酒田市倫理法人会

会長 佐藤 茂

酒田市倫理法人会いよいよ開設3年目を迎えました。設立が平成16年6月29日で、ぎりぎり駆込みの104社でのスタートでした。2年目は90社になり、最低時は84社になりました。が、3年目の6月29日は法人資格の102社まで戻して、倫理経営講演会を盛大に行いました。この勢いを駆って平成19年度普及目標を6月29日までに120社に決定いたしました。本年度は法人局全体目標が11月、5万社達成。山形県法人会も7月7日、9単会、1000社に決まっております。目標必達は会社経営も同じです。決心が強いのか弱いのかによって仕事の成否が決まるが、決心ということは今までなかったことをこうしようと信念を固めることである(葉P105)。多くの皆様にモーニングセミナーに参加していただきたい。そこは「楽せず楽しむ」心の鍛練の場であり、信念を固めるところであります。倫理の素晴らしさを体得し、広く仲間伝えて、自社の発展と地域の活性化に役立ててゆきたい。



山形市蔵王倫理法人会

会長 鈴木 隆一

『一人光る、皆光る』～秋のように明るく、春のように朗らかに～

明朗な人には人や物が集まってきます。明るくすなおな心を持ち続けると、人生を変えるすばらしい出会いがやってきます。

まず、自分が輝く。するとまわりの人が輝き出す。そして私たちが輝けばきっと社会が、日本が輝き出します。

「一人光る、皆光る。私は今この瞬間を、秋のように明るく、春のように朗らかに生きよう」これが平成19年度の活動理念です。

この理念をより良く実践するために〔普及目標〕140社、〔MS目標〕35社、〔地域貢献目標〕長井市設立支援10社、という数値目標を設定しました。

私たち蔵王は会員さん、明日の会員さんが自己革新を実践するためのお役に立つよう活動してまいります。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



米沢市倫理法人会

会長 小島 勤

平成十九年度米沢市倫理法人会会長に就任致しました小島です。本年度の活動指針を下記に述べさせていただきます。今年度のテーマは「倫理の原点に帰ろう」であります。最初に倫理と出会ったのは米沢市倫理法人会設立時であります。季節は真冬で豪雪の中、山形市倫理法人会熊谷会長はじめ多くの倫友が早朝より米沢に駆けつけて戴き、モーニングセミナーを実施しました。山形市倫友様の熱意こそが、私が倫理に傾倒した原点であります。今年度は、その思いを受けて長井市に仲間を作る事で広く普及して行く決意であります。活動方針は「モーニングセミナーの活性化」と致しました。倫理の原点は何と言ってもモーニングセミナーです。倫理実践者のお話をお聞きし、自らも触発され倫理を実践していく。そして、会員自身が、多くの会員の前で実践の成果を発表していく。そんなモーニングセミナーを目指して参ります。



山形市倫理法人会

会長 伊藤 明彦

「次期の会長を引き受けてもらいませんか」と当時の中村会長からお話があったのは、たしか平成17年のまだ多少寒さが残っている頃だったと思います。当時はPTAの役員はじめ、いくつかの会の代表を務めて居り、しばらく待ってもらえないだろうかとお願ひしたところ、1年間だけ待ちましようということので了解をしていただきました。

1年かけてなんとか会長を逃れるすべを考えようと知恵を絞りましたが、なかなか良い知恵が浮かばず、この度会長を拝命することになりました。

歴代会長に比べ人格・識見・能力に劣り、倫理的な生活をし、倫理経営を実践し、実績を上げているか問われるとはなはだ自信がないのですが、倫理の学びを通じて少しでも歴代会長の皆様方に近づけるよう考えているところです。

今年山形県倫理法人会が設立されてから15年目の記念すべき年となります。私ども山形市倫理法人会が15周年の記念式典を主管させていただくこととなりますが、山形県の倫友全員で成功を目指し頑張ります。



上市市倫理法人会

会長 晋道 純一

上市市倫理法人会設立から早いもので4ヶ月が経過いたしました。設立以来モーニングセミナーも、この4ヶ月平均で約30社・40名程の出席状況で、まずは会長として胸を撫で下ろしているところでございます。しかし、最近モーニングセミナーの出席企業も決まってきた観があり、いかに魅力的なモーニングセミナーを企画実現していくかが今後の大きな課題であると考えております。又、当会の活性化を図る前に大切な事は、各委員会の役員同士のフェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーション力と、只今委員会毎の親睦会を開催中でございます。『倫理法人会も企業も組織の活性化なくして成長発展なし』であると改めて再認識し、やはり最後は「人」であると痛感いたします。それでは会長として心を引き締める意味で、平成19年度上市市倫理法人会の活動計画書をこの紙面をお借りいたしまして各単会に発信させていただきます。

- 活動重点目標**
- ①普及目標
 - ・2006年9月1日より、役員23名が6社程会員を担当し、フェイストゥフェイスで退会防止を図る。
 - ・2007年4月1日より、50社・100名のMSを実現し、普及拡大の発信基地とする。
 - ②モーニングセミナー目標
 - ・2006年9月1日より、役員意思疎通を強化するため、役員朝礼出席者を15名以上とし本会の活性化を図る。
 - ・モーニングセミナーは全員参加型の倫理塾にしたい。
 - ③地域貢献目標
 - ・本会が上市市活性化に不可欠な団体になることを目指す。
 - ◆普及目標
 - ・平成19年8月末120社を達成します。
- 「目標は高く、頭は低く、実践は足元からコツコツと」倫理で教えていただいた私の大好きな言葉です。この気持ちでこの一年間、フレンドリーで且つ上市市に必要とされる存在感のある上市市倫理法人会に、一日も早くなれるよう邁進していきます。みなさまからのご教示の程よろしくお願ひいたしまして会長挨拶いたします。



鶴岡市倫理法人会

会長 秋山 周三

9月13日、天童・滝の湯ホテルさまで、平成19年度辞令交付式が開催されました。式典終了後、懇親パーティーがあり、「中ジメの挨拶をしてくれ」とのご指名をいただきました。私の性格から、そういう慣用句や美辞麗句を並べた話は嫌い。勿論、私個人の好みですから、他人に「それはいけない」と否定はしませんし、他人様のそういうご挨拶だってしっかり聞きます。ただ、自分だったらそういう話はしない、というだけのことです。

中ジメで忘れてならないのは、料理そのものとそれを作ってくれた人たち、会場でお世話してくださった人たちへの感謝の言葉。

様々な場面でショートスピーチを依頼されることがあります。それも多くは「突然頼まれる」ことが多いものです。そういうケースでは事前に準備をする時間がありません。「その時」に備えて準備しておくことは出来ます。話のネタを沢山用意して、引き出しに入れておき、状況に応じて引き出しから出す。勿論、個人的に練習することも必要です。さらに実践的な練習場所がありますね。それは、それはモーニングセミナーでの会員スピーチです。



寒河江市倫理法人会

会長 桜井 仁

9月の新年度から、私共倫理法人会は4年目を迎えます。疾風のごとく3年が経過しましたが、振り返って見ますと様々な活動とその感動が思い出されます。とりわけ今年2月の富士高原研修所での経営者倫理セミナー、そして5月18日の倫理経営講演会等々充実した学びの場であったと確信しております。会員各位のご理解と、中村俊光相談役(前会長)の包容力とご指導によるものと、改めて感謝申し上げます。

私事新年度より当会の会長を仰せつかりましたが、まだゆれ動いて軸足が定まらずに大変ご迷惑とご心配をおかけしておりますが、会員の皆様のご支援のもと協力、協調して取り組んで参りたいと思います。

会員拡大、或いはM・Sの活性化等、重点目標については総力を挙げて邁進しなければなりません。一応まだM・Sにもご出席をいただけない会員の方には、じっくりと根気よく啓発する事により、倫理活動をご理解いただき「はじめの一步」を踏み込んでもらう事が私共の責務ではないかと思っております。

拙い会長となりますが、19年度よろしくお願ひ申し上げます。



天童市倫理法人会

会長 多田 竣一

天童市倫理法人会の今年度の目標は現在の会員数の約倍、100社を目指します。またMS出席社は20社(平均)。新生天童市倫理法人会の意気込みをもって始動いたしました。これまで県役員の方々をはじめ単会の皆様には常々ご協力やご心配やおかけしております。しかしながら天童市倫理法人会にも誇れるものもあります。それは、MS出席者の朝食参加率の高さです。会場である「滝の湯ホテル」さんの朝食バイキングの人気もさることながら、会員の方々のつき刺すような熱いまなざしは、セミナー終了後もそのまま冷めることなく朝食会場へと移行いたします。いわば少人数ならではのメリットでもあり、相互信頼関係の充実の現れでもあります。臨機応変に1人何役もこなす「あうんの呼吸」ならぬ「倫理の呼吸」が自然と構築され参加された単会の皆様にオーラと安らぎを与えております。今年度はこの「倫理の呼吸」をもって会員一同普及拡大に望み、更に更にパッション(熱情)を加え、邁進いたします。

平成十九年度 山形県倫理法人会役員辞令交付式

九月十三日（水）県役員辞令交付式が天童市の滝の湯ホテルで柴田津與志幹事長の進行で行われ、中村俊光副会長より開式の言葉で始まり、北海道・東北方面長三浦貴史氏の読上げ、そして法人局長中西浩氏より辞令を頂きました。活動表彰としまして、寒河江市倫理法人会主催の倫理経営講演会に参加人数一二九五名という驚異の参加人数で全国一位の表彰が行われました。続いて株式会社シベール様・酒田米菓株式会社様に倫理ライセンス認定書（倫理177000）授与が行われ、その後、近清剛会長、各単体会長、拡大委員長より決意発表が行われ、方面長三浦貴史氏より激励の言葉を頂き、最後に中村恒一副会長より閉式の言葉で無事辞令交付式が終了しました。

第二部の懇親会では、奥山正明事務長の進行でなごやかな楽しい懇親会でありました。



平成19年度山形県倫理法人会役員辞令交付



新年度に想うこと



家庭倫理の会山形
会長 相馬 紀子



「創生の第二ステージ」となる平成十九年度がスタートしました。法人会様には、創生初年度に沿った多大なご理解とご協力を賜りありがとうございました。

おかげさまで今年は、昨年の決意のとおり「家庭倫理の会山形設立」が実現出来る運びとなりました。又、法人会様には、県内各単会からお招きいただきMSでお話しさせていただいたり、様々な場を通して親しく交流させていただいたり、様々な場を通じた運動の大きな支えとなりました。

今年、私にとっても喜ぶとするところは、「県法人会の一〇〇社達成」の節目と「家庭倫理の会山形設立」が、来る七月七日、八日と同時に、しかもそれぞれ理事長をお迎えして、盛大に挙行することになったということです。諸事情のことを考え合わせると、こんな事が実現出来るということは「夢のまた夢」、山形県に倫理運動の旋風がおきた天の配剤と思っただけで感動しております。これも、何かにつけてご理解とご配慮をいただいた賜物と深く感謝いたしております。

平成19年度 山形県倫理法人会 役員名簿

役職	氏名	会社名
名誉会長	本間 利雄	本間利雄設計事務所
会長	近 清剛	(株)三奥屋
副会長	中村 俊光	丸菱食品(株)
副会長	中村 恒一	(株)マルナカ中村商店
幹事長	柴田津與志	柴田原料(株)
副幹事長	木村 健彦	(株)木村醤油店
事務長	奥山 正明	(株)奥山会計事務所
副事務長	小松 幸弘	小松建設(株)
監査	伊藤 善吉	本間利雄設計事務所
監査	川合 賢助	川合賢助税理士事務所
普及拡大委員長	岡崎 大造	ニット オカザキ
副委員長	市村 清勝	(株)市村工務店
モーニングセミナー委員長	戸田 一郎	(株)戸田文商店
副委員長	菅原 利明	(株)庄内コンビネーション
研修委員長	荒井 捷夫	(株)山形組
副委員長	五十嵐慶三	(株)竹原屋本店
朝礼委員長	中村 恵一	(株)大清
副委員長	山口マツ子	(株)いろは寿司
広報委員長	小松 健一	寒河江印刷(株)
副委員長	荒井 照雄	(株)アシスト
女性委員長	鈴木 貞子	(株)カワダ薬局
副委員長	熊谷トシ子	(株)うさぎ
相談役	三浦孝太郎	(株)三浦板金製作所
相談役	菅野 茂正	(株)二ホン総建
相談役	熊谷 真一	(株)シベール
相談役	矢吹 海慶	刹妙法寺



風雅の国で 「観月の宴」

去る十月四日、山形市倫理法人会主催の「音楽の夕べと観月の宴」が、山寺は風雅の国で開催されました。今年、バイオリンスト村川千尋様とピアノスト加藤希望様にお願ひしました。参加された会員の皆様は、観月の宴にふさわしい雰囲気の中で、風雅な音楽を楽しみ、優雅に食事を味わいながら倫友と語りあひ懇親を深めました。

山形県倫理法人会ホームページ <http://www.yamagata-rinri.net>
Eメール info@yamagata-rinri.net

倫理17000受賞おめでとう

■ 倫理17000とは

「倫理17000」は、倫理経営に精励し、地域社会に多大な貢献をしている会員企業を、倫理研究所が認定する資格制度です。「倫理17000」の「17」は、日頃からテキストとして学び、実践している『万人幸福の葉』十七カ条を意味します。「000」は、純粋倫理の特色である「明朗・愛和・喜働」の三つの心を表現しています。

企業の体質が問われる昨今、自社を「倫理経営」の視点からチェックすることにより、健全な企業づくりをサポートすることに繋がります。また三年に一度、その内容を再審査することで、さらなる倫理経営推進の後押しを客観的かつ継続的行ないます。

経営者自身が常に自己革新をはかり、倫理経営を実践する社風を作り上げることが人類の幸福への第一歩です。家庭で、地域で、「日本創生」に大きく貢献せんとする企業を、倫理研究所は応援いたします。

倫理ライセンスを

受賞して



株式会社シベール
代表取締役社長
熊谷 眞一

覆面の審査員がいつ訪れたのかちつとも知らないで居たところに、倫理17000の認定の連絡がありました。二年前には、とてもそんなレベルはありませんと辞退しましたが、今回は有難く頂戴することにしました。そのレベルに達したなど思っている訳では決してなく、先に頂いておいて徐々にそのレベルに迫っていくのも一つの方法ではないか、と思い返したからです。具体的な基準が明確に示された訳ではなかったのですが、私の方から、社員手帳、四十年記念誌、執筆中の小論「倫理経営私論」を提出して、その方向で実践しているかどうか、厳しく審査し続けて下さるようお願いしました。倫理経営とは、いくつかがあ

る経営スタイルの選択技の一つではなく、二十一世紀に生き残る経営はこれしかないと思っています。さらにその最上位概念は、地球倫理であると確信します。「地球に優しく」の標語は勘違いもいいたく、地球は太陽にだけ優しくされればいいのです。人類の百年は地球の時計に換算すれば、一分にも満たないでしょう。空に太陽がある限り、地球は何度でも微生物からやり直すことでしょう。その地球が四十年前に比べて、多分十分の一以下に縮んでしまいました。人類の文明が生んだあだ花がそうしたのです。人間が地球以外の天体に住めないことは、はなから分かっています。万物の霊長を豪語する人類を頂点として、あらゆる生物が、地球が青いりんごだとしたら、あの薄い青い皮一枚のところろに生きているのです。

敗戦と共に押し付けられた、あのぼつちゃんの理想主義の憲法が実は今、世界で最も進んだ、優れた憲法であった。そんな風に思えてなりません。皆さんはいかがお思いですか。この度、栄誉ある「倫理17000」の認定を受け、大変光栄に思うと同時に非常に重いものをいただいたことに身の引き締まる思いであります。「倫理17000」は、倫理経営に精励し、地域社会に多大な貢献をしている会員企業に与えられるライセンスであり、そして「17」は「万人幸福の葉」の十七カ条であり、「000」は「明朗」・「愛和」・「喜働」の三つの心を表しているといえます。昭和四十二年東京墨田区押上実践部の法人会員となり、以来、倫理を会社経営の基本に据えてきました。昭和六十年墨田区倫理法人会に移籍し、平成十六年酒田市倫理法人会設立と同時に移籍入会いたしました。倫理経営に精励とは程遠いところですが、続けることが大切と落伍しないようにしがみついています。地域社会貢献も特に米菓という

倫理ライセンスを

受賞して



酒田米菓株式会社
代表取締役会長
佐藤 茂

仕事柄、米作地域に若干の貢献はしていると自負しております。昭和六十三年創業者佐藤栄一が黄綬褒章を、又平成五年山形県産業賞を受賞しました。これもみな倫理のお陰です。が、まだまだみんなに喜ばれる状態ではなく、道半ばです。また「17000」は当初から朝礼に「十分間の朝礼」そして「職場の教養」を取り入れて社員教育の一環としてやってきました。経営者も「楽せず楽しむ」を心がけ、季節の移り変わりを楽しみながら、早朝「おはよう倫理塾会場」に通い続けておるところです。が、なお道遠しです。今回のライセンスは古参会員に、永くやっておれば良いというものではない、もつとしっかりやれという叱声と激励を込めた賜物と心得、またこの認定が会員各位の倫理運動推進の励みになればと念じながら拝受いたしました次第であります。これを機に社員共々、倫理経営に改めて情熱と執念を込めて取り組んでまいります。会員各位からの一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。そして本年度七月七日、山形県倫理法人会十五周年、会員一〇〇社達成を心から祈念いたすところです。